

大谷中学校だより No.8



URL <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/NC2/>

平成 27 年 9 月 1 日発行 文責：藤谷

今という時間と重圧を楽しむ

校長 濱 育代

4 5 日間の夏休みが終わりました。一学期の終業式で「時間は有限、されど使い方は無限」という話をしました。酷暑・猛暑という言葉がぴったりのうだるような暑さの中、生徒たちは、この4 5 日間という時間をどのように使ったのでしょうか。

中学生は補習授業や部活動があるので、半分以上は学校に登校していました。また、サマーボランティアやわくワーク体験・オカリナ作製や焼き物体験教室・親子合宿や親子議会、そして砂取り節祭りなど、各種行事や活動もたくさんありました。地域と関わる・地域を発信する・地域の一員として出来ることに挑戦してみる。また、はじめての体験を味わう等々、生徒たちは夏休みならではの時間を過ごしていたようです。夏休み中の課題も提出期限を細かく区切って提示してあったので、大部分の生徒はその提出期限という時間を守って計画的に動いていました。先生方も事前に提出された課題を確認したり、赤ペンを入れたりなど夏休み中に、各自に細かい指導をおこなうこともできました。時間を大切に使った夏休みだったようです。

始業式では、「時間を有効に使おう」と「重圧を楽しもう」という話をしました。

二学期は行事ラッシュ。企画・運営・準備・本番、そしてふりかえり。「やるべきことは確実にその時間でやりきろう」「やってよかったという満足感を感じられる時間を送ろう」「時間に追われるのではなく、時間を有効に使おう」と事例をあげて話をしました。この校舎で、この仲間と創り上げる時間は二度とありません。中1の二学期・中2の9月・中3の修学旅行は、今しかありません。また、大谷中学校の教職員と共に過ごす時間も、今しかありません。そんな時間を大切にしよう、そんな時間を楽しもうと話しました。

「重圧を楽しもう」では、大リーグで様々な記録に挑戦し続けている野球選手の対談の言葉を引用しました。日々の健康管理や効果的練習法を取り入れているその選手は、日々の努力も人の何倍もおこなっているとか。そんな選手であっても、記録を更新するまでは、そのプレッシャーという重圧に押しつぶされそうになってしまうそうです。眠れない日や、不振が続くと投げ出したくなることもあるそうです。しかし、そんなときは「この大記録に挑戦できるのは、今この瞬間しかない。一生の中で今という時しかない。ならば、この重圧を楽しんでやろうではないか」と思うようにしているそうです。重圧・プレッシャーを楽しもうという感覚になるのは、なかなかできるものではありませんが、生徒たちには、運動会や文化祭などで、代表として大役を担う場面が必ず出てきます。「私らしくやってみよう」「自分のアイデアを出してみよう」など、自分らしく輝いてほしいという話もしました。

今という時間を楽しむ・重圧というプレッシャーを楽しむ
二学期を、生徒たちには是非過ごしてほしいと願っています。



二学期始まる



4 5 日ばかりあった夏休みも、部活動や補習などであつという間に過ぎてしまいました。その間、海岸清掃ボランティア、オカリナづくり、全校登校日、サイエンスチャレンジ、飯田高校体験入学などがありました。

いよいよ二学期を迎えました。小中合同運動会や文化祭と学校行事の多い学期になります。また、3年生は早々に修学旅行に出かけます。そして、PTAでは小中合同での臨時総会なども予定され、スケジュールがいっぱいになっています。何かとご協力をお願いします。

二学期は、一年間で一番充実させられる学期です。学習に行事、部活動も前向きになって取り組んでほしいものです。また、落ち着いて自分を見つめられる時期でもあります。今までの自分を振り返り、将来の夢を考えたり、それに向けてこれから自分はどんなふうにご過ごしていくのか、どんなことをやっていくのかを考えたりするのも良いと思います。

9月行事予定		
1日	火	始業式 PTA 交通指導 (亀山) 安全点検
2日	水	生徒委員会
4日	金	小中合同運動会予行練習・準備
5日	土	小中合同運動会
6日	日	予備日
7日	月	振替休日
11日	金	租税教室 生徒集会
15日	火	3年修学旅行1・2年金沢バス遠足 後期生徒会公示
16日	水	3年修学旅行
17日	木	3年修学旅行
19日	土	市新人球技大会 (健民体育館) 卓球部(穴水体育館)
21日	月	敬老の日
22日	火	国民の祝日
23日	水	秋分の日
24日	木	いしかわ読書の日
26日	土	黒米稲刈り予定
28日	月	指導主事要請訪問
30日	水	後期生徒会立会演説 発足



サイエンスチャレンジ

七尾サンライフプラザ

2年生の浦さん、木村君、吉田君の3名がサイエンスチャレンジに参加しました。石川県では津端、能美、七尾と3会場に分かれて、上位入賞チームには「第3回科学の甲子園ジュニア石川県大会」に参加できます。

小田原先生の指導のもと、理科室で今年度の課題に取り組んだ成果が表れました。課題は、『風の力を利用して動くもの』エアクッション艇(ホーバークラフト)を製作し、競技を競うものでした。能登を中心に参加した35チーム中、大谷中学校は銀賞を獲得しました。金賞の皆さんが県大会出場となります。しかし、たいへんよく頑張りました。みなさんおめでとうございます。



新刊をたくさんいただきました

大谷地区子どもを育てる会から、小学校だけでなく中学校もたくさんの本を贈呈していただきました。会長の仲平さんと館長の国吉さんから、趣旨などを聞いた後、子どもたちからお礼の言葉を述べました。

夏休みには、時間もたくさんあります。読書にいそしみ5000ページの旅が完了されることを期待しています。



わくワーク体験・サマーボランティア活動

2年生は、夏休みにかかわらず恒例のわくワーク体験やサマーボランティア活動を行いました。今年は「塩田村」と「JA」「保育所」「波の花デイサービスセンター」にお世話になりました。中学生が自分の将来における生き方や進路を模索するなかで、職場体験等の体験活動を実施することで、望ましい職業観・勤労観を身に付けていくことがねらいとなっています。また、奉仕活動をとおして、“困っている人や苦しんでいる人の役に立ちたい”という思いを行動に移せる人になってもらいたいと考えています。

生徒たちは、果たしてどんな思いで体験活動を行ったのでしょうか。



サマーボランティア体験をして 2年 浦

私は将来赤ちゃんや小さい子にかかわる仕事をしたいので、大谷保育所を選びました。

体験の中で、一番嬉しかったことは「お姉ちゃん！」と言われたことです。私がひよこ組の部屋に入ると、最初みんなは押し入れの中に入っていたけど、私が「あそぼ。」と言うと、それまでに作っていたブロックを持って来て、「お姉ちゃんこれ見て」、とみんながそばに来てくれたので嬉しかったです。月、花、ひばり組の子も、ひよこ組の部屋をのぞいて「お姉ちゃん後であそぼ。」と言ってくれたので嬉しかったです。

他にも、交通安全教室でシグナルさんの役をしたり、昼食には、中島先生の給食をいただいたりとてもおいしかったです。

サマーボランティア体験で、園児からはずかしながら大きな声で返事や挨拶をすることを学びました。それをこれからも生かしたいと思います。



波の花デイサービス 2年 吉田

波の花デイサービスで一日ボランティアをしました。一日という短い間だったけど、お年寄りの方々と交流できて楽しかったです。

午前中は、お年寄りの方々と話をしたり、オセロをしたりして過ごしました。午後からは、お年寄りの方々と一緒に体操したり、歌を歌ったり、おどったり、ゲームをしたりしました。お年寄りの方々と交流ができたし、仕事を手伝うことができ良かったです。

これらのことを体験して、お年寄りとの接し方やお年寄りを大切にすることを僕は学びました。だから、これからはもっとお年寄りを大切にしたいです。今回は、貴重な体験ができてよかったです。



親子議会に参加して

大谷中学校 堀田

親子議会の参加にあたり、発表内容や誰が発表するかについてクラスで何度も話し合いをしました。話し合いをする度に、疑問や質問の内容は広がっていきました。話し合っているうちに、もう少し珠洲のことを知りたいと思い、私は発表者に立候補しました。

親子議会で市長さんの答弁をいろいろお聞きしているうちに、珠洲市には高齢化問題について、対策や取り組みがいろいろなされていることがわかりました。

私も、「逆転の発想を生かした珠洲市の取り組み」について質問をしました。

今までは、多くの方が半島の先端に位置することをハンディと捉えていました。しかし、半島の先端であるからこそ、美しく豊かな自然が守られ、珠洲の伝統文化が保たれてきたと話されました。そのことが、世界農業遺産の認定にもつながったと市長さんからお聞きし、私自身も、珠洲は少子高齢化が進み、さみしい所というイメージを持っていたので、改めて「逆転の発想」を持つことが大切だと思いました。市長さんの答弁をお聞きし嬉しく思いました。

また、答弁の中で「里山里海自然学校」が開設され、金沢大学の人材育成事業にも役立っていることをお聞きし、これから珠洲市は逆転の発想を生かして活性化していくのではないかともしました。

都市部から移り住んでもらうためには、仕事や住まいなど、まだまだ課題があります。しかし、その課題も、他校の生徒の発表の時の市長さんの答弁から、空き家を活用し、珠洲市に定住する人を増やす取り組みも進んでいることがわかりました。親子議会でいろいろな人の話を聞くことができとても勉強になりました。

他校の生徒の発表では、ボードやグラフの提示・写真を使った説明など、工夫がたくさんあって分かりやすいと思いました。発表の仕方も工夫すると伝わりやすいことも、私はこの親子議会で勉強できたと思います。

また、本番の日は、思った以上に傍聴席に座っている人が多く、とても緊張しました。そんな中でも自分の伝えたいことをしっかり発表することができたと思うので、とても貴重な経験ができました。

今後は、この経験を生かして人前で、自分の気持ちをしっかり言えられるように頑張りたいと思いました。

親子行事

夏休みを利用して3年生は、親子行事でそばづくりや満天星に宿泊し流れ星や夏の夜空を観察しました。

